

**製品名: SENP5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17728**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SENP5
別名	SENP5; FKSG45; Sentrin-specific protease 5; Sentrin/SUMO-specific protease SENP5
遺伝子 ID	205564.0
SwissProt ID	Q96HI0
免疫原	抗血清はヒト SENP5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 651-700

**背景**

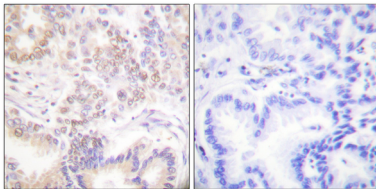
小型ユビキチン様 SUMO タンパク質 (SUMO1、MIM 601912 参照) の付加によるタンパク質の可逆的な翻訳後修飾は、多くの生物学的プロセスに必須である。SENP5 などの SUMO 特異的プロテアーゼは、SUMO 前駆体の初期処理を担い、結合反応に必要な C 末

端ジグリシンモチーフを生成する。また、これらのプロテアーゼは、高分子量 SUMO 複合体から SUMO を除去するイソペプチダーゼ活性も有する (Di Bacco et al., 2006 [PubMed 16738315])。[OMIM 提供、2009 年 6 月]、機能: SUMO 経路における 2 つの重要な機能、すなわち全長 SUMO3 を成熟型に変換する処理と、標的タンパク質から SUMO2 と SUMO3 を脱結合させる処理を触媒するプロテアーゼ。全長 SUMO1 または SUMO1 複合体に対して弱いタンパク質分解活性を有する。細胞分裂に必要である。類似性: ペプチダーゼ C48 ファミリーに属する。、

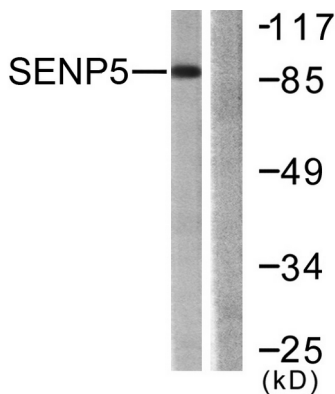
## 研究分野

細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; プロテアソーム/ユビキチン; 相撲

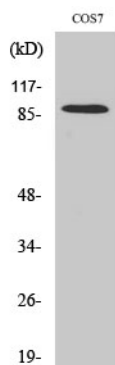
## 画像データ



SENP5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



SENP5 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SENP5 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。